

見えにくさのある児童生徒の学習環境に関する実態調査(Ⅱ)

京都府立医科大学眼科では、見えにくさのある小学生とその保護者を対象に、見えにくさのある児童生徒の学習環境に関する実態調査を実施しております。

本調査の実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

見えにくさのあるお子さんは学校生活や学習に何らかの困難を伴っている可能性があります。周囲にはなかなか気が付かれにくいことがあります。見えにくい場合、例えばルーペや拡大教科書等を使用するなどの学習配慮が必要なことがあります。

本研究では、どのくらいの見え方(見えにくさ)のお子さんにどんな学習配慮が行われているかの実態調査を行います。

研究の方法

・対象となる方について

2022年4月1日から2025年3月31日までの間に、京都府内の小学校に在籍している児童生徒のうち、何らかの見えにくさがある児童生徒とその保護者

・研究期間：2022年9月15日から2027年3月31日

・方法

本調査のお知らせを、協力を得られた各小学校の全児童生徒保護者、もしくは京都府内の眼科医療機関宛てに配布します。

何らかの見えにくさがある児童生徒の保護者のうち、同意を得た方に、お子さんの学習環境の実態についてのアンケートを行います。

・研究に用いる試料・情報について

情報：(見えにくさのあるお子さんの) 学年、視力、眼疾患、学習や生活上の困りごと、学校ですでに行われている配慮の内容、等

・個人情報の取り扱いについて

個人情報をこの研究に使用する際は、氏名などの個人を直ちに特定できる情報は削除し

研究用の番号を付けて取り扱います。個人名と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 眼科学教室 外園千恵）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 試料・情報の保存について

いただいた情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学眼科において研究責任者（教授・外園千恵）の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 眼科 教授 外園 千恵

研究担当者

京都府立医科大学 眼科 助教 鎌田 さや花

同 視能訓練士 小西 幸代

同 客員講師 池田 陽子

京都府立医科大学 生命基礎数理学 講師 吉井 健悟

お問い合わせ先

京都府立医科大学 眼科

助教・鎌田さや花

電話：075-251-5578（眼科医局）：平日9時～17時